

アイロン掛けはシワにならない順番があります

何度やってもうまくいかないシャツのアイロン掛け。特別な道具がなくても手順やポイントを押さえれば誰でも綺麗に掛けられます。

本日の達人
ヤマウツプレス 山澤亮治さん
30年近く、アパレル業界で培ったノウハウを武器にプレス業界へ参入。

「シャツをキレイにアイロン掛けするコツは、やはり順番。そしてコツだけ掛けるとキレイに見えませんが、いい場所があるんです。ポイントとしては袖の縫い目、襟とボタン、そして肩のラインのラインです。」

必備
●掛ける順番が重要
●アイロンは重いものを

アイロン掛けに必要なものは

- 特別なものは一切不用!!
 - スチームアイロン
 - アイロン台
 - メッシュの当て布
- この3つでOK!!

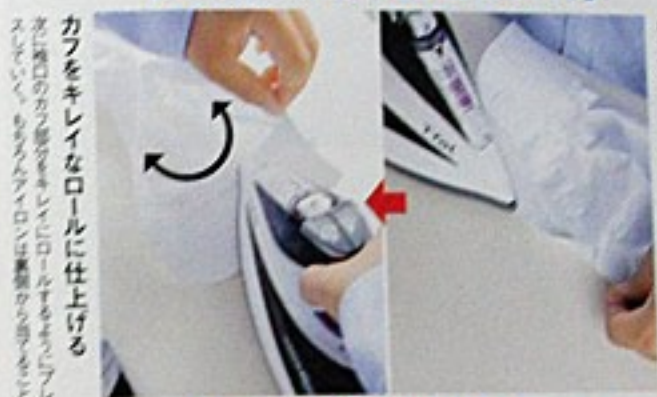


スチームアイロン 27万1000円 / タイファール(ブルー) プレップジャパン 03-570-07772 / アイロン台 27万1000円 / フラパンシア(シルバー) 通商 03-5443-2511

シャツにアイロンを掛けていく順番をまずはイメージする!!



【最初は①のカフから当てていく】



袖口の刺ボロからスカート
カフをキレイなロールに仕上げる
次に袖口の方をキレイにロールするも同じように
スチーマーをアイロン台から取り出して、裏面から当てていく。

【次に②の袖を仕上げていく】



袖をかける際は手前を落とすとして
袖口アイロンを掛けたら、手前を落とすとして、
アイロンを掛けたら、手前を落とすとして、
アイロンを掛けたら、手前を落とすとして、

技



脇縫い線を揃えて
向こう側に倒す

そしてまた一気にプレス

【そして③背をプレスしていく】



背中は一気に掛けず半分ずつ
背中はとても広い面なので、一気に掛けてしまうとどうしてもシワになってしまいますから半分ずつプレス。



ヨーク部分のプリーツは浮かせてスチーム
ヨーク部分の下のプリーツを掛ける時は、袖口と同様に浮かせながらスチームを当てて伸ばしましょう。

CLOSE UP!



背中から前身頃へとプレスしていく
もう半面の背中を掛けたら、その縫いを前身頃に移します。品質タグなどは手で掛けやすいので注意。

注意

【④～⑤の前身頃を仕上げていく】



左前身頃をプレスしていく
対して左前身頃は、目立つ部分でボタン部分にはボタンが付いているので、アイロンはその間を縫うようにします。
右前身頃をプレス
まず右前身頃を仕上げます。平らな面は、一気にプレスしていきます。

【⑥の台襟を仕上げる】



POINT
手前を落とす

襟を袖のときと同様に手前に落とす
襟の裏面をアイロン台から取り出して、裏面から当てていく。

【最後に⑦の襟をプレス】



裾を押し気にならずにとる
プレスし終わったらハンガーに吊るし、裾にスチームを当てます。
襟は押すようにプレス
襟をかける際は、つけたような感じのシワが出ないように押すようにプレスします。
カラーステイを強めておく
襟の縫い目もカラーステイは、アイロンで強めておく必要があります。